

2017年の中国の祝祭日

岡山県上海事務所 担当 崔 笙

(日中経済貿易センター上海事務所)

2016年12月に国務院から2017年の祝祭日について発表されました。中国では新暦と旧暦を併用しています。大雑把に表現すると、曜日と通常の休日(週末)は新暦ですが、祝祭日は旧暦です。よって、毎年、祝祭日が変わります。2017年の祝祭日と内容は次のとおりとなります。

【中国の祝祭日はおよそ太陰暦で決まる】

中国の祝祭日はおよそ太陰暦(旧暦)に基づいており、毎年12月初旬～中旬に政府が翌年の祝祭日＝公休を発表しています。

政府の定める祝祭日には8種類あります。

年始から順に「元旦」、「春節」、「清明節」、「労働節」、「端午節」、「中秋節」、「国慶節」です。

【元旦:2017年1月1日(日)】

太陽暦に基づきます。今年は日曜日のため2日(月)が振替休日となります。

【春節:2017年1月27日(金)～2月2日(木)】

いわゆる「旧正月」で、年間で最も重要な祝日の一つです。旧暦の大晦日から休みとなりますが、職場や人によってはこの1週間前後休みを取ることも多いため、関係先の休みには注意が必要です。

中国では、新年は必ず家族揃って迎えるものとされていて、春節前後には出稼ぎ労働者がこぞって故郷へ帰ります。「春運(春節大移動)」と呼ばれ、この時期の空港、駅、バス停は1年で最も混雑するので、外出には注意が必要です。

また、海外で年越しをする人も多く、昨年の海外旅行者は延べ615万人(前年同期比7%増)うち団体旅行者は37.4万人(同2.5%増)。香港への旅行者は69.7万人(同3.7%増)、マカオは53.3万人(同8.5%増)。また、中国の小売・飲食の販売額は8,400億元(同11.4%増)でした。

【清明節:2017年4月2日(日)～4日(火)】

二十四節気の一つ「清明」の祝日で、日本の“お盆”に似ており、墓掃除などを行います。春爛漫の季節であることから郊外へ散策に出かける伝統もあります。インターネット旅行代理

企業「途牛」の「2016年清明観光消費分析」によると、近場が人気で、旅行者の7割近くが日帰りという結果でした。

【労働節:2017年5月1日(月)】 所謂メーデー。1999年より7日間のゴールデンウィークとなっていました。2008年の改正で3連休に短縮されました。今年は土日の後のため平日は1日だけが公休となります。

【端午節:2017年5月28日(日)～30日(火)】

旧暦5月5日。魔除けの菖蒲を掲げたり蒼朮(中草药)を燻したりチマキを食べたりドラゴンボートレースを行ったりします。

【中秋節+国慶節:

2017年10月1日(日)～8日(日)】

中秋節は旧暦8月15日を含む3日間で、国慶節(建国記念日)は太陽暦10月1日から1週間。

今年は旧暦8月15日が10月4日であることから国慶節と重なります。

この時期の中国の独特の習慣として、月の神に捧げる供物が起源とされる伝統菓子「月餅」の贈答があります。

中秋節の1ヶ月ほど前になると、中国全土で月餅商戦が繰り広げられます。個人だけでなく企業も取引先への贈答品として大量に購入します。最近では菓子屋が発行する「月餅券(カード)」なる引換券を贈り合うことが多くなっています。

月餅の中身の「餡」は土地により様々で、典型的な餡はナッツ類、ゴマ、サンザシ、蓮の実餡、小豆、ナツメなど健康に良いとされるものが多く、変わり種として、食用バラ、茶葉、ジンジャー、海鮮、ハム、ひき肉があります。

月餅は贈答品として華やかな包装や過度な贈り合いが社会問題ともなっています。一度は政府の贅沢禁止令によって下火になったかに思われましたが、現在でも簡易包装は浸透しきっていません。また、月餅を販売する外資系の飲食店もあります。昨年の上海市内の月餅の販売価格は1個当たり数元～数10元の中、例えば米スターボックスの贈答用月餅券は1枚598元(80g×2×5種類/1万円弱)、ハーゲンダッツのアイス月餅券は300元前後(5,000円弱)でした。

国慶節は、7 日間が休みとなるため、中国のゴールデンウィークと呼ばれています。春節と異なり、完全な余暇として長期旅行など外出する人が多く、多くの商店でセールが行われます。昨年の国慶節期間中、国内旅行者は延べ 5.93 億人（前年同期比 12.8%増）、小売・飲食消費規模は 1.2 兆元（同 10.7%増）でした。

（2017 年 2 月）